

科目（講座名）	化学基礎	2単位	必履修
教科書	化学基礎（啓林館）		
副教材	ゼミナール 化学基礎（浜島書店）		

学習の目標

1. 化学に関する基本的事項を学び、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則の理解を深める。
2. 自然と人間の関わりについて考察し、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。

授業内容

「化学と人間生活」、「物質の構成粒子」、「化学結合」、「物質と化学反応式」、「酸と塩基」、「酸化還元反応」について観察・実験などを通して探究し、理解するとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。

学習方法

教室における一斉授業および、実験室における4人1班または2人1班での実験を基本とする。

評価の観点

関心・意欲・態度	化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。
科学的な見方・考え方	基本的な原理・法則、物質、量的関係をはじめ物質の変化など化学に関する基本的な見方・考え方ができている。
表現・処理	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	化学の基本的な内容を理解し、それをもとに化学的な現象について考えることができる。

評価方法

定期考査および観察・実験に対する姿勢・ノート、レポート等の提出物・授業への取り組み等を、年間を通して総合的に考慮して評価する。

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	1	化学と人間生活	化学と私達の生活	物質を対象とする学問である化学の特徴を理解し、今後の学習への興味・関心を高める。
		4	物質の構成	純物質と混合物、物質とその成分、粒子の熱運動と物質の三態	単体、化合物及び混合物を分類できるようにし、様々な分離・精製法と原理を覚えること。粒子の熱運動と物質の状態変化との関係について理解する。
		5	物質の構成粒子	原子の構造と電子配置、イオン、元素の周期表	物質について微視的な見方ができるようにする。また、イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。
		6	7	化学結合	イオン結合、共有結合、金属結合
	7	3	物質量と化学反応式	原子量、分子量、式量	原子や分子の質量の相対質量による表し方や、物質の量を構成粒子の数で表す物質量について慣れる。
2	9	8	物質量と化学反応式	物質量	アボガドロ定数と物質量、物質量と質量、物質量と気体の体積の関係を理解し、相互変換ができるようになる。
		10		溶液の濃度	物質量と溶液の濃度の関係を学ぶ。
		5	化学反応式と化学変化の量的関係	化学反応式、化学変化の量的関係	化学反応式は、化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。
		11	7	酸と塩基	酸・塩基、水の電離と pH、酸・塩基の中和と塩
	12	5	酸化還元反応	酸化と還元	
3	1	10	酸化還元反応	酸化剤と還元剤	酸化・還元の定義を理解し、酸化と還元が電子の授受によることを理解する。
		2		金属の酸化還元反応 酸化還元反応と人間生活	
		3	5	まとめ	総合演習

科目（講座名）	生物基礎	2単位	第1学年必修
教科書	生物基礎 Biology（東京書籍）		
副教材	セミナー生物基礎（第一学習社） スクエア最新図説生物 neo（第一学習社）		

学習の目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

授業内容

生物の多様性と共通性（進化と系統）を基盤として、次の3つの内容を学習する。

- （1）DNAなど現代生物学の基盤となる内容
- （2）ホルモンや免疫など健康にかかわる内容
- （3）生態系など環境の科学的な理解に資する内容

学習方法（学習に関する考え方）

講義、実験・観察・視聴覚教材等の体験的学習、問題演習

評価の観点

関心・意欲・態度	生物学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。
科学的な見方・考え方	基本的な原理や事象・自分自身も含め、身のまわりの生物に関する基本的な見方・考え方ができている。
表現・処理	目的意識を持って観察、実験を行い、それらの過程や結果を的確に考察、理解し、生物に関する事物・現象を科学的に探究する考え方を身に付けている。
知識・理解	生物の基本的な内容を理解し、それをもとに生物学的な現象について考えることができる。

評価方法

定期考査、ワークシート、実験レポートの点数
 ・授業態度（関心・意欲など、課題への取り組み姿勢）
 ・出席状況
 など、総合的に判断する

年間授業計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	4	生物の多様性と共通性 細胞 代謝とエネルギー 遺伝情報	01 オリエンテーション 02 生物の階層性 03 生物の系統性 04 さまざまな細胞 05 原核細胞・真核細胞 06 細胞と分子 07 エネルギー分子・ATP 08 ATP再合成・呼吸 09 ATP再合成・光合成 10 細胞小器官の進化 11 多様な化学反応と酵素 12 多様なタンパク質	顕微鏡の使用法、いろいろなプレパラートの観察、プレパラートの作成、酵素反応などを、オンラインの映像を通して、間接的に経験することで理解を深める。
	5	8			
	6	8			
	7	4			
2	9	6	タンパク質合成 複製と分化 ゲノムと遺伝子 体内環境 体内環境の調節 免疫	13 DNAと遺伝子 14 遺伝子とタンパク質 15 転写 16 翻訳 17 DNAの複製 18 細胞の分裂と分化 19 ゲノムと突然変異 20 遺伝子と進化 21 体内と体外 22 細胞外液 23 細胞外液の循環 24 肝臓 25 腎臓 26 ホルモン 27 自律神経 28 血糖濃度の調節 29 糖尿病 30 生体防御 31 血液凝固 32 自然免疫 33 適応免疫 34 病気と免疫	DNA の模型作成、ウニカエルの発生、臓器などの映像を通して、間接的に経験することで理解を深める。
	10	8			
	11	8			
	12	4			
3	1	6	生態系 バイオーム 遷移 生態系のバランス	35 植生と生態系 36 生態系とエネルギー 37 気候とバイオーム 38 水平分布と垂直分布 39 植生遷移 40 植生遷移のしくみ 41 遷移と攪乱 42 生態系と大規模攪乱 43 生態系と人間の生活	文献調査で、身近な特定外来生物や温暖化などを取り扱う。
	2	6			
	3	4			

科目（講座名）	体 育		2 単 位	必履修
教科書	現代保健体育（大修館書店）			
副教材	図説最新高等保健（大修館書店）			

学習の目標

- ①集団行動を徹底し、集団におけるルールやマナーの大切さを理解する。
- ②スポーツを通して、心身発達をうながし生涯を通して運動を実践する態度や習慣を身に付ける。
- ③チーム作りを通して、話し合いの中で円滑な仲間との関係を作る。

授業内容

- 1 学期 陸上競技、器械体操、バレーボール、（男子）柔道（女子）ダンス、水泳
 - 2 学期 水泳、陸上競技、器械体操、バレーボール、（男子）柔道（女子）ダンス
 - 3 学期 バスケットボール・持久走
- ※天候・施設の関係で種目を変更する場合もある。

学習方法

- ①個人競技は、体力作りに重点を置き、基本練習から段階を経て応用練習へと移行する。
- ②集団競技は、個人技術から集団技術への展開。仲間を大切にし、役割分担を考え、チーム作りを行う。ゲームにおいて、戦略・戦術を考え作戦をたてる。

評価の観点

関心・意欲・態度	各種目の特性を理解し、互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとする。勝敗に対して公正な態度がとれる。
思考・判断	自己の能力に応じた目標や課題を設定し、効果的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができる。
技能	チームや個々の能力に応じた課題の練習や、ゲームを通して、集団的・個人的技能を高めることができる。
知識・理解	各種目の特性や学習の進め方、練習や競技の仕方を理解している。競技の運営やルール・審判法を理解している。

評価方法

各担当が実技点100点、出席点100点 計400点満点（技術点が2単位なので200点となる）で5段階評価する。
 なお、授業参加状況、授業態度も評価の対象になる。
 学年末は年間の成績を総合的に判断し、評価する。

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点		
1	4	26	A) 陸上	<ul style="list-style-type: none"> 短距離走 リレー クロール・平泳ぎ 	<p>安全に配慮する。 説明をよく聞き、理解して行動させる。 勝敗に対して公正な態度をとらせる。</p>		
	5		バレーボール、器械体操（展開） 水泳			<ul style="list-style-type: none"> 基本練習から応用練習への発展 ゲームおよびルールと審判法の理解 	<p>ゲーム運営について理解させる。 ルールの理解について観察する。 安全に配慮する。</p>
1	6	26	B) バレーボール、柔道（展開）	<ul style="list-style-type: none"> クロール・平泳ぎ 	<p>説明をよく聞き、理解して行動させる。 安全に配慮し、仲間と協力しながら行わせる。</p>		
	7		ダンス 水泳			<ul style="list-style-type: none"> 受け身 基本作法 基本ステップ 	<p>安全に配慮する。 説明をよく聞き、理解して行動させる。</p>
2	9	28	A) 器械体操	<ul style="list-style-type: none"> マット運動 クロール・平泳ぎ 	<p>安全に配慮する。 説明をよく聞き、理解して行動させる。 勝敗に対して公正な態度をとらせる。</p>		
	10		バレーボール、器械体操（展開） 水泳			<ul style="list-style-type: none"> 基本練習から応用練習への発展 ゲームおよびルールと審判法の理解 	<p>ゲーム運営について理解させる。 ルールの理解について観察する。 安全に配慮する。</p>
2	11	28	B) バレーボール、柔道（展開）	<ul style="list-style-type: none"> クロール・平泳ぎ 	<p>説明をよく聞き、理解して行動させる。 安全に配慮し、仲間と協力しながら行わせる。</p>		
	12		ダンス 水泳			<ul style="list-style-type: none"> 受け身 基本作法 基本ステップ 	<p>安全に配慮する。 説明をよく聞き、理解して行動させる。</p>
3	1	16	A) B) 持久走	<p>時間走と距離走のタイムトライアル</p>	<p>自己の記録の向上への意欲を持たせる。 安全に配慮する。</p>		
	2		バスケットボール			<ul style="list-style-type: none"> 基本練習から応用練習への発展 ゲームおよびルールと審判法の理解 	<p>勝敗に対して公正な態度をとらせる。 ゲーム運営について理解させる。 ルールの理解について観察する。</p>
	3						<p>安全に配慮する。 説明をよく聞き、理解して行動させる。 安全に配慮し、仲間と協力しながら行わせる。</p>

科目（講座名）	保 健		1 単位	必履修
教科書	現代保健体育（大修館書店）			
副教材	図説 現代保健（大修館書店）			

学習の目標

生涯にわたって、自分自身で健康な生活を作り上げて行く知識を習得し、実践する態度や習慣を養う。

授業内容

「現代社会と健康」	1 学期	健康のとらえ方、喫煙・飲酒・薬物乱用と健康	他
	2 学期	感染症・エイズとその健康、欲求と適応機制	他
	3 学期	自己実現、交通安全、応急手当	他

学習方法

教科書と図説などを利用して、内容の事前学習と課題を設定する。
授業を通して課題を理解する。
ビデオ・パワーポイントなどの視聴覚機器による学習も行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	各項目に関する事柄について、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習しようとしている。
思考・判断	各項目に関する事柄について課題の設定や解決方法を考え、選択すべき行動を判断している。
技能	
知識・理解	各項目に関する事柄について、適切な生活行動を選択すること及び環境を改善していく必要があることを理解し、課題解決に役立つ知識を身につけている。

評価方法

各学期、定期考査・提出物・授業参加状況等で5段階評価する。
学年末は年間の成績を総合的に判断し、評価する。

年間計画

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	1 2 3 4	現代社会と健康	・私たちの健康のすがた 健康のとらえ方	教科書・図説による事前学習をおこなわせる。
	5	5 6 7 8		・さまざまな保健活動や対策	自ら課題や疑問点を設定・解明するようにさせる。
	6	9 10 11 12		・生活習慣病と日常の生活行動	自分の日常生活において、適切な生活行動の選択を考えさせる。
	7	13		・喫煙と健康	生涯にわたって、自分自身で健康な生活を作り上げて行く知識を習得させる。
				・飲酒と健康	
				・医薬品と健康	
	9	1 2 3 4	現代社会と健康	・感染症とその予防	教科書・図説による事前学習をおこなわせる。
	10	5 6 7 8		・エイズとその予防	自ら課題や疑問点を設定・解明するようにさせる。
	11	9 10 11 12		・健康にかかわる意志決定・行動選択	自分の日常生活において、適切な生活行動の選択を考えさせる。
				・意志決定・行動選択に必要なもの	生涯にわたって、自分自身で健康な生活を作り上げて行く知識を習得させる。
				・欲求と適応機制	
				・心身相関とストレス	
				・ストレスへの対処	
3	1	1 2 3	現代社会と健康	・自己実現	教科書・図説による事前学習をおこなわせる。
	2	4 5 6 7		・交通事故の現状と要因	自ら課題や疑問点を設定・解明するようにさせる。
	3	8		・交通社会における運転者の資質と責任	自分の日常生活において、適切な生活行動の選択を考えさせる。
				・安全な交通社会づくり	生涯にわたって、自分自身で健康な生活を作り上げて行く知識を習得させる。